

《Lesson 1》 疑問詞 + to 不定詞：基本の形

《疑問詞 + to不定詞》

- (1) what / whereといった疑問詞にto 不定詞を足す形。
 <例> **what to do / where to go / how to do it** など
- (2) 意味：疑問詞の意味+～するべきか (should を使った表現のように訳される)
 疑問詞の意味+～するのか
- (3) **know / ask / explain / remember** などの目的語としてよく使われる。
 <例> I ask him what to do. (私は彼に何をすべきかたずねました)
 I don't know how to use this. (私はこれをどのように使うのか知りません)

フレーズ	意味	例文
what to 動詞	何を「動詞」するべきか 何を「動詞」するのか	I don't know what to do next. (次に何をすべきか私は知りません)
where to 動詞	どこで(に/から)「動詞」するべきか	He told me where to go. (彼は私にどこに行くべきか伝えました)
when to 動詞	いつ「動詞」するべきか いつ「動詞」するのか	Do you know when to use this? (これをいつ使うか知っていますか?)
how to 動詞	どのように「動詞」するべきか 「動詞」の仕方/やり方	I don't know how to play tennis. (私はテニスのやり方を知りません)
who to 動詞 whom to 動詞	誰を「動詞」するべきか 誰を「動詞」するのか	I haven't decided who(whom) to invite. (誰を招待するか私は決めていません)
【それ以外の疑問詞+to不定詞】 what ○○ to 動詞 = 何の○○を「動詞」するべきか which ○○ to 動詞 = どの○○を「動詞」するべきか whose ○○ to 動詞 = 誰の○○を「動詞」するべきか		

*why to 動詞の形は存在しない。

ポイント！ **whom** とは

whom とは「誰を」という意味の疑問詞で、動詞の目的語をたずねる形となります（「あなたは誰を待っているの?」といった文章で使われる）。ただし whom の代わりに who を使うこともでき、who を使う方が一般的という意見もあります（whom は堅い表現）。そのため会話では、whoの方が多く聞かれるかもしれません。

- <例> Who should we invite? (私たちは誰を招待するべきですか) 【口語】
 Whom should we invite? (私たちは誰を招待するべきですか) 【書き言葉】
 Who is your favorite musician? (誰があなたの好きな音楽家なのですか)
 (Whom is your favorite musician? = ×)

ポイント！ 場所を表す **where to** と **which ○○ to (what ○○ to)** の使い分け

「場所」を表すことができる **where to** と **which ○○ to / what ○○ to** は、使い方に注意する必要があります。

<例> I want to eat a hamburger, but I don't know **where** to go.

(ハンバーガーを食べたいんだけど、どこに行くべきか分かりません)

I want to eat a hamburger, but I don't know **which restaurant** to go **to**.

(ハンバーガーを食べたいんだけど、どのレストランに行くべきか分かりません)

となります。こうなる理由は、

where は副詞 (**there / here**のような扱い) なのに対し、
which ○○ / what ○○は名詞扱い (**that restaurant** など)

となるからです。詳しく説明しますと

<例> I want to go **there**.

↑

where は、この **there** の部分を聞く形。

I want to go **to that restaurant**.

↑

which restaurant は、この **that restaurant** の部分を聞く形。

となるので、**which ○○ / what ○○** を使う場合は、**to** などの前置詞がつくことがあります。